

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業

資源エネルギー庁

令和6年度概算要求額 17億円（18億円）

省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課

事業の内容

事業目的

中小企業（スタートアップ企業を含む）等は、新エネルギー等に関する潜在的技術シーズを有している。これらを幅広く発掘し、技術開発の段階に応じた支援とシームレスな経営・事業化支援を組み合わせることで実施することにより事業化に結びつけることを目的とする。

事業概要

本事業では、新エネ等の導入拡大の障壁となる社会的課題を解決する技術シーズを発掘し事業化に結びつけるため、事業段階に応じて、事業化に向けた助言、ベンチャーキャピタルによるハンズオン支援を行いつつ、中小・ベンチャー企業等が行うFS調査、試作機実証、実用化研究開発及び民間団体等が行う事業化実証等の支援を行う。

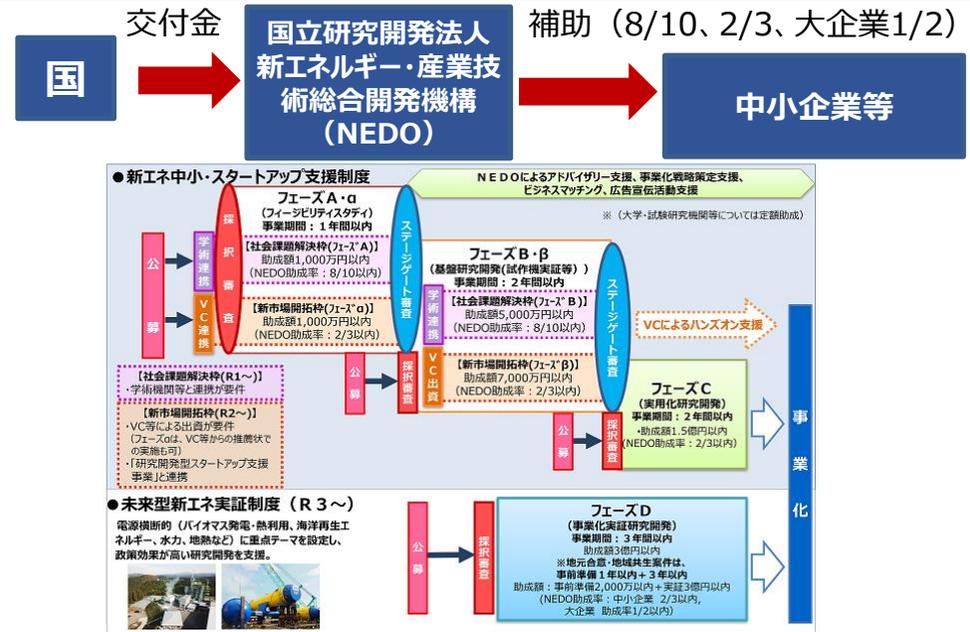
(1) 新エネ中小・スタートアップ支援制度

中小・ベンチャー企業を対象に、フェーズA（FS）、フェーズB（基盤研究開発）、フェーズC（実用化研究開発）による支援を行う。

(2) 未来型新エネ実証制度

中小企業・大企業を対象に、事業化実証研究開発に対して支援を行う。令和6年度からは、大規模実証の実施に当たり、地域共生・地元合意が必要な案件について、最大3年間の研究開発実施前に、1年かけて地元合意を形成する期間も支援対象とし、地域と共生した取組みを支援する。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

平成19年度からの事業であり、本事業で採択した事業のうち50%を事業終了後3年以内に事業化することを目指す。